「熊本の学び」授業実践の【教師の出番・役割】7つのチェックリスト

番号	観点		子供の姿	授業参観での指導する側に関する気づき ※基本は、あてはまる□に✓を入れるだけ。 できていた…☑　できていない…□（空白）　評価できない…🈳（取消線） ※特筆すべきことがあれば☆欄に記入する。 好事例または指導改善が特に必要な点。その他については、記入の必要なし。
1	日常	聞く姿勢づくり	授業者の言葉をしっかり聞いて、反応したり、活動したりしている。	□　短く、分かりやすい指示や説明、発問等になっている。 □　児童生徒の発言・行動をコントロールできている。 ☆
2	単元	単元ゴールの姿	単元終了時の姿を共有している。	□　単元のゴールの姿や身に付けさせたい力（資質・能力）を確認している。 □　単元の学習計画を確認している。 ☆
3	単元	全体	「わくわく」等、知的好奇心や興味・関心を高めて学習に取り組んでいる。	□　単元を通した学習課題が、児童生徒の興味・関心を高めるものになっている。 □　指導計画に示された学習活動が、「何を考えるか」「何をするか」を児童生徒がイメージできるものになっている。 ☆
4	一単位時間	導入	「なぜ」「おそらく」等、疑問を持ったり予想したりして学習に取り組んでいる。	□　図表や写真等の提示や身の回りの出来事等を取り上げるなど、児童生徒の学びに向かう気持ちを高める工夫を行っている。 □　児童生徒が「何を考えるか」「何をするか」をイメージできる学習課題（めあて等）の設定となっている。 ☆
5	一単位時間	展開	「やってみよう」「なるほど」「きっと」等、挑戦したり納得したりして学習に取り組んでいる。	□　読ませたり、ポイント等にアンダーラインを引かせたり等の教科書の活用を行っている。 □　児童生徒が個またはグループ等で課題解決に向かう場の設定を行っている。 □　机間指導・支援を行い、「認め・褒め・励ます」言葉かけを行っている。 □　児童生徒相互の意見・考えをつなぐ、揺さぶるなどのコーディネートを行っている。 □　児童生徒の失敗や間違いを学びに生かそうとしている。 ☆
6	一単位時間	終末	「分かった」「できた」「もっとやってみよう」等、実感や達成感を得たり更なる意欲を高めたりして学習に取り組んでいる。	□　まとめ・振り返り（本時に何がわかったか・何ができるようになったか等を確認する）の場の設定をしている。 □　まとめ・振り返りの時間を十分に確保している。 □　適用問題に取り組ませている。 ☆
7	一単位時間	個に応じた指導	自分の習熟度に合った課題などに取り組んでいる。	□　児童生徒の習熟度を把握している。（見取りを行っている。） □　児童生徒が主体的に取り組むことができる課題を準備している。 ☆
※		ＩＣＴの活用	ＩＣＴの活用により、学ぶ意欲が高まったり、学習の理解を深めたりしている。	□　考えや立場の表示や共有・他者参照・カテゴライズ・インターネットでの情報収集等、目的を明確にしたＩＣＴ機器の活用を、必要な場面でさせている。 ☆
※		板書の工夫	板書を基に学習の流れを振り返っている。	□　学習課題（めあて）と児童生徒の考え、まとめを板書している。 □　児童生徒の考え等を生かして、まとめを板書している。 ☆
※		学習用語の理解	学習用語を理解し、繰り返し使っている。	□　学習用語を、個人思考、対話、発表、まとめ、振り返り等で繰り返し使わせる指導を行っている。 ☆

校名〔　　〕学校
（　）月（　）日（　）曜日（　）校時
（　）年（　）組　教科等名（　　）
授業者氏名〔　　〕

〈メモ〉※特筆すべきことがあれば記入する。

記入者（　　）